

幼・保・小・中

一貫教育プロジェクト

方向性

今回は生活習慣・学習習慣・食育研究部会です。

一、目指す生徒像 (十五歳像)

阿久比町小中学校五校の保護者と児童生徒を対象に行った実態調査(平成十八年二月実施)から次のように設定しました。

- ・ 規則正しい生活を送り、自分の役割を自覚できる生徒
- ・ 時間を守り、自立的な行動ができる。
- ・ 家庭や学校における自分の役割に、責任をもって取り組むことができる。
- ・ 自ら進んで計画的に学習する生徒
- ・ 学習に対して関心や意欲をもち、進んで取り組むことができる。
- ・ 目標に向かって計画的に学習することができる。
- ・ 読書を好み、視野を広げ、考

二、追求する課題

実態調査や分析から、課題を次の三つにしばり込み、調査・研究を行いました。

- ・ 小中学生は、家での手伝いが不十分
- ・ 与えられたことには真面目に取り組むが、自ら課題を見つけ、計画を立て、主体的に学習しようとする態度は不十分
- ・ 八〇%以上の家庭が、朝食を取るようになっている、家族そろって食べるようになっている、栄養のバランスを整えるなどについて意識

- ・ えを深めることができる。
- ・ 正しい食事の在り方を理解し、食事を通して自らの健康管理ができる生徒
- ・ 一日三食食べる。
- ・ 栄養バランスを考えて食事ができる。
- ・ 簡単な調理ができる。

しているが、実際の食事の取り方が不十分(好き嫌い、間食、マナーなど)



楽しく給食を食べる中学生

三、課題解決に向けた提案・提言

次の2つの提案・提言がされました。

六歳から十五歳までのそれぞれの年齢の目指す姿の設定と、その姿を実現するための家庭・学校・園からの働きかけを「家庭・学校・園がともに育ち合うための手引き」としてまとめる。手引きだけでは分かりにくい内容について、Q&Aの形式でまとめる。

問い合わせ先 学校教育課
☎(48)1111(内202)

手引き参考例

幼稚園・保育園年長児(6歳)

生活習慣

基本的な生活習慣を身につけ、自分から進んでできる子ども
進んで、あいさつや返事をする。
早寝早起きの習慣をつける。
自分で衣服の着脱をし、必要に応じて調節する。
遊んだものを片づけ、自分の持ち物を整理する。
自分で排泄の始末をする。



学習習慣

いろいろなものに興味や関心をもち友達と意欲的に遊ぶ子ども
友達順番やきまりを守り、さまざまな遊びをする。
身近な事物・事象・文字や数に関心をもち、生活や遊びに取り入れて遊ぶ。
共同の物を大切に、譲り合って使う。



食育

食事のマナーを身につけ、好き嫌いをしないで食べる子ども
食器に手を添えて食べる。
食事の前に手を洗う。
食事のあいさつ(いただきます・ごちそうさま)をする。
いろいろな食品に親しむ。

